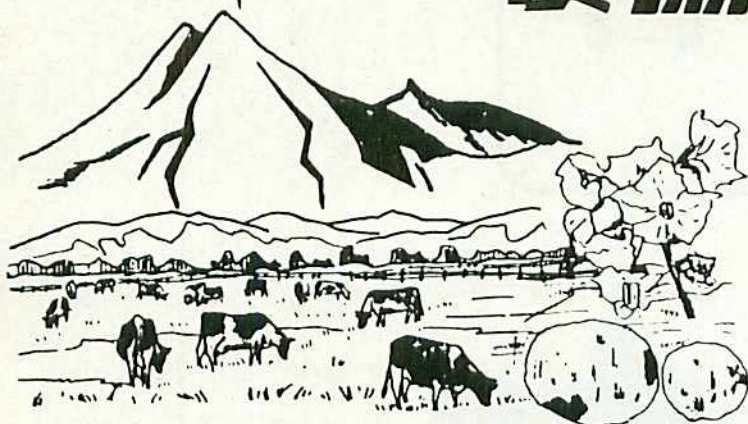


なか/べつ 農協だより



第 93 号

昭和57年 9月

発行 中標津町農業協同組合
編集 営 農 部
印刷 アート印刷株式会社



いた一日

農協農民運動会

曇り空の元で第五回農民運動会が八月十八日、中標津中学校グラウンドで開催されました。今年、新しい種目（積立貯金・マラソン）が増え、競技に参加する組合員の顔にも熱が入り、応援する各チームの応援合戦が目立ち、最後の親子リレーでは、全員が総立ちとなって走る人と応援する人が一体となって楽しい一日を終える事が出来

ました。

各地区の成績は次の通りです。

- | | |
|----|--------|
| 一位 | 武佐地区 |
| 二位 | 当幌地区 |
| 三位 | 依橋地区 |
| 四位 | 俣落地区 |
| 五位 | 開陽地区 |
| 六位 | 中標津地区 |
| 七位 | 職員チーム |
| 八位 | 第二俣落地区 |



力一杯の選手宣誓 武佐地区代表 中司啓雄君



小学生の指導によるラジオ体操



ビールを飲むのは簡単、釣るのは苦手ノ



組合員とその家族ぐるみの参加による第五回中標津町農協農民運動会が八月十八日、中標津中学校グラウンドにおいて盛大に開催されました。遅れが心配されていた一番草の収穫も終り農作業は一段落した一時を職員チームを含む八チームが団体戦に日頃の労苦を忘れての大ハッスル。終日会場に大きな歓声がこだまして楽しい一日でした。組合員間の交流と親睦の場としてのこの運動会を益々充実してまいりたいと考えております。そろそろ涼しい風が肌に感じてまいりました。家族ぐるみでの健康管理と農作業機による事故等には充分留意されまして秋の収穫作業に頑張つていただきたい。

(伊藤参事記)

沸る歓声

第5回中標津町



「積立貯金」思うように入りません。



慣れない手つき。早いぞ職員チーム



ワッショイ、ワッショイ、腰を下げて、

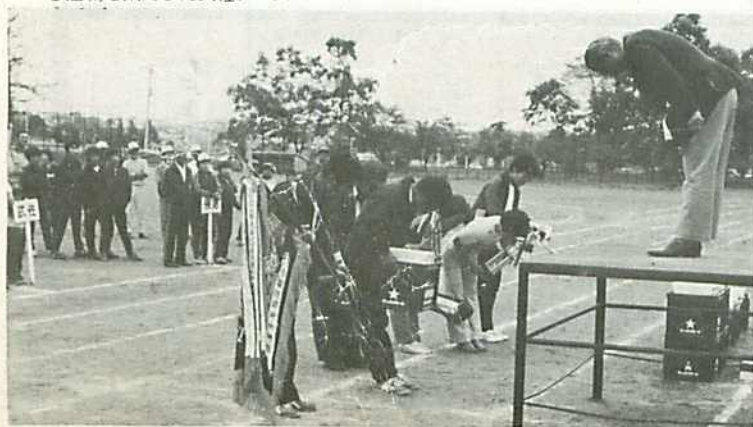
3連覇を果たした武佐チーム



日頃の成果 頑張っています



足が思うように動かないなあー



6kmの道のりは遠かった

乳房炎は乳質低下の原因④

芳野誠

乳房炎は心配ないと云う方で

現の風因となつた。――

[illegible]

農協運動の 先駆者たち

志村源太郎

(一八六七年
—一九三〇年)

志村源太郎は、はじめ農商務省に入り、ついで勸業銀行の役員に転じました。政府資金が勸

業銀行を通じて産業組合に導入され、産業組合中央会が資金あつせんをしていたことから、連絡上中央会の役員となりました。のち平田東助が内大臣になり、中央会名誉会頭になると志村は会頭になり、産業組合の発展に努めました。平田東助は官

僚の最高の地位にあったこともあずかり、中央会は官僚的色彩が濃かったのですが、金融関係に明るい志村は経済観念の普及に努めました。大正末期・昭和初めの経済変動に処して組合の経営刷新の方向づけに努力したのです。

全国機関の設立・金融恐慌対策・振興刷新運動「家の光」と組合学校の創設などは志村の下で行われました。品川・平田・加納の明治大正期と干石興太郎の昭和期との中継をした重要は組合人です。

最近道内のあっちこちで農家の人が商品相場に手を出して大損をしたという話がありま

す。札幌・帯広・旭川市を拠点とした相場師達が小豆・砂糖・

商品相場師の 誘いに 気をつけよう！

一般食品等を対象として相場にうとい農家の人を誘いこみぼろもうけをしているという。旭川市の例を挙げると相場師の誘いに乗り、砂糖相場の投機買いをした所、三カ月間で五百万円の大損をした。原因は相場師の誘いに乗ったこともあるが、更に商品相場取引契約証を見ずに相場師に印鑑を渡し、勝手に書類を作らせたために相場師に都合のよいように契約証を作ったために、農家の人の一方損失となった。いづれにしてもこれら相場師の誘いに乗らないことと、契約証等に印鑑を押さなければならぬ時は、充分内容を確認してから押印するよう心掛けて下さい。

ヤング 登場！



俵橋地区 北川誠治君

酪農経営に携わって二年、経営を知らなければ知るほど難かしさを知ったと語る俵中地区の北川誠治君を紹介致します。

誠治君の家は、牧草地約四〇ヘクタールに約九〇頭の乳牛を飼養する酪農家の長男で、五十年に帯広畜産大学を卒業、在学中に十勝の酪農家での実習が合理的な経営、計算された牛飼いを教えてくれた。その経験が今、経営の中で少しずつ取り上げ、中でも粗飼料の自給率を上げるため、土地の整備、草地更新を手始めとして行っている。飼料の事を考えれば牛の体の事も土の事も全ての事が関連し、牛飼いの難かしさを膚で感じ、地道に一步一步進んでいきたいと抱負を語っていました。

生活講座 ⑨

明るい

家族関係を育てるために



農業改良普及員 榎田 美穂子

一つの家族の家族構成は、さまざまな年代の組み合わせからなり立っています。夫婦に親子だけの家庭を核家族、更にお年寄りが加わると拡大家族になります。農業は経営を親の代から子の代へ、さらに次代へと受け継がれて行くため、拡大家族形態が多くなっています。子供に両親・祖父母とそれぞれ生きてきた年数も育った時代の環境、受けてきた教育も、どれをとって異なります。ですから同じ生活を営んでいても物に対する考え価値観・受けとめ方にもちがいが出てくるのは当然の現象でしょう。力や知識も異なる家族メンバーがそれぞれの力を出し合い、本当の民主的な人づくりの

場をつくることは、大変むずかしいことです。

しかし、家族がお互いの立場を理解し、尊重し合うこと、世代をこえた交流こそが、楽しい家族関係を作る基本になります。

(気軽に話し合える習慣)

農業は家族と一緒に働き、お互いの仕事について理解・協力し合える職業で大変素晴らしいことです。しかし長時間、家族が一緒にいる割には会話が少なく、親と子の話し合いで大事なことは親に相談しないと答える中・高校生が全体の半数以上もいるようです。もちろん話の内容によっては親より友達の方

が理解してくれる場合もあるでしょう。たとえば意見の対立があっても、わだかまりなく話し合える日常生活習慣を家族の誰もが身につけたいものです。家族内の嬉しいできごと、困ったできごと、みんなで分け合い、協力し合うことが必要で、子供には、お年寄りには余計な心配をかけさせたくない配慮は家族関係上好ましいことではありません。

(家族の一員としての役割)

子供には子供の年令・能力・力に合った仕事をどしどし参加させるべきです。お年寄りも野菜作りや環境整備・家事作業等、仕事の一端を受けもってもらう方が効率的でもあり、生きがいにもつながることです。

(家庭行事を大切に)

九月は敬老の日、お彼岸・月見等、季節の行事がいくつもあります。生活の節をつける意味からも、こうした家庭行事は大切に、家族のコミニケーションを深める場として育てていきたいものです。

種馬鈴薯防疫検査

全筆合格!!

農産課



昭和五十七年度の種馬鈴薯防疫検査が八月十一日の第三期検査に於いて終了致しました。

一、立札の記入が悪い
二、検査日にはほ場に入らない。

本年度は、ほ場筆数七十九筆七十二・六五haを受検致し、第一期・第二期・第三期で四十五筆検査して参りましたが全筆合格致しました。しかし、検査後の講評に於いては全ての検査官が次の事を注意していますので来年度は注意される事のないようお願いいたします。

三、アブラムシの完全防除
四、病株イモの完全拔取り及び野良生えの拔取り
五、その他
以上の事が注意されておりまた、今後掘り取りまで病株の完全拔取り等充分に注意し又農作業が開始されますのでケガのないよう注意願います。

「読書は心の化粧です」



と言った人がいた。

薬草の効用

ジャガイモ

とびひ・やけどに
薬用部＝塊茎〔薬効〕
分には、
貯蔵中に出る芽の部
分には、
ソラニンと呼ぶ作用

のはげしいアルカロイドを含むので、食用・薬用にはこの部分をとり除きます。とびひ（伝染性膿痂疹）にはイモの皮をむいてすりおろし、水けをしぼって除いたものを患部につけ、乾いたら新しいものに取り替えま

す。小さな範囲のやけどにはイモの皮をむいてすりおろし水けを含んだままガーゼや布きれにのせて患部をおおい、乾いたら新しいものと取り替えます。痛みが軽くなり、傷も軽減します。

全道共進会へ

3頭が出品資格獲得!!

'82根室ホルスタイン共進会開催される

一九八二年根室ホルスタイン共進会が、去る八月五日・六日の二日間南中の根室生産連家畜共進会場で開催されました。当日は好天に恵まれ、審査員は中標津町農協共進会の審査も行った奈井江町の北良治氏と好条件に恵まれ、当農協は根室管内でも最高の六十余頭を出品しました。

今年から出品牛名簿の内容が少し変更され、未経産牛については母牛、経産牛については本牛の能力が記載されるようになりました。これは一応参考として現在は記載されているだけです。将来は能力基準が共進会出品牛には設定されるものと思われま



健闘する中標津勢

であり、非常に良い事であると思えます。審査結果の方は中標津勢は例年に比べ若干低調に終わりましたが別表の通り第二部、第十二部ではトップを取りました。今年

の特徴としては未経産牛が低調で「未経産土国中標津」の看板も今年は冴えませんでした。それでも入賞率は四十三・五パーセントに達し層の広・厚さを伺わせました。

又、この共進会は第八回北海道総合畜産共進会の予選も兼ねており第二部を除く全ての部で

審査終了毎に全道共進会出品資格牛が決定されました。中標津関係分は別表の通り三頭が出品資格を獲得し、来る九月十日から十二日までの三日間、札幌市月寒で開催される第八回北海道総合畜産共進会での活躍が期待されます。

'82根室ホルスタイン共進会上位入賞牛

部	等	席	名	号	畜主	備考
2	1	1	カントリーライト	シュプリーム	クリスタン	国光達夫
2	2	3	カントリーライト	ベネット	エコー	〃
3	2	2	パーク	ソプリン	マリー	花川秀一
3	2	3	ロック	ミラー	ミス	ムラサキ
5	2	2	カール	クラーク	ファンシー	マリア
7	2	1	デュプリケート	コピーライト	ナイト	遠藤与畏二
9	1	3	ヘイブレス	テージ	クロス	奥村洋行 全道出品
10	1	2	ガバネス	スカイビュー	ビクター	ベネット
10	2	3	MPF	ブレステージ	ポータル	新井範美 全道出品
12	1	1	デコール	ホープ	モデル	ランブラー
						篠永 栄
						花川 稔 全道出品

営農技術

舎飼移行期の飼料給与

農業改良普及員

藤岡 幸助

(1) 舎飼移行期の飼料給与

牧草の生育は九月以降急激におとろえて、十月ではほとんど停止してしまいます。そのため秋口に放牧のみに依存している乳牛の栄養が不足し、体重の低下や乳量の急降下がみられます。放牧から舎飼へ移行する端境期にはこれらを防止するためきめこまかな飼養管理が必要で乳量を落とすことなく舎飼期の態勢に入ることが望まれます。

そのためには前号でも記したように放牧地の草量を十分確保することが先決です。更に移行期における基礎飼料の切替えには、食い込みと糞の状態をよく観察しながら二週間位かけて徐々に行うことが大切です。

またてん菜作付農家ではピートトップの給与が行われることと思いますが次の点に注意して給与して下さい。

- 一日当り給与量は二〇〜三〇kgの範囲内にする。
- リン不足になりやすいのでリン酸カルシウムや濃厚飼料を与える。
- 乾物摂取不足になりやすいので乾草を与える。
- 分娩直後の高泌乳牛に対しては給与量を制限する。
- 収獲後、ほ場に長く放置しておいたものは牛乳の品質に悪影響を及ぼすので注意する。

(2) 公共牧場から下牧後の管理

春先に公共牧場に預託された牛は順調な発育をしてそれぞれの牧場に帰ってくる時期です。退牧時及び退牧後も個体観察を十分に行って少しでも異常を発見したら直ちに治療を行うことです。

(3) サイロガスによる事故防止

順調に生育している二番草の

収獲作業も始まっている事と思いますが、例年サイロガスによる事故が発生しています。サイロガスは詰め込み後数時間で発生し、二〜三週間持続するので、その期間に追い詰められる時は一五〜二〇分間位ブローを回してガスを追い出してガスがない事を確認してから入ることです。

サイロガス(炭酸ガス・二酸化窒素ガス)の特性

性 状	炭 酸 ガ ス (CO ₂)		二 酸 化 窒 素 ガ ス (NO ₂)	
	無色・無臭・不燃性 空気より重い	0.5%	赤褐色・特異な刺激臭がある 空気より重い・水によく溶ける	25 ppm (0.0025%)
毒 性	最大許容量 濃度が高いと呼吸中枢を麻痺させ、窒息死をもたらす	0.5%	最大許容量 ごく少量でも中毒を起し、肺の損傷や死をもたらす	25 ppm (0.0025%)
	濃 度	症 状	濃 度	症 状
空 気 中 の 濃 度 と 症 状	3 %	不 快 感	5 ppm	特異な悪臭を感じる
	4 %	頭痛・めまい・はき気・動悸・息切れ	10~20 ppm	目・鼻・ノドの刺激・咳・頭痛・めまい・はき気
	5 %	ローソクの水が消える	100 ppm	短時間の吸入で中毒
	8 %	呼吸困難	700 ppm	30分以内に死亡
	8~10 %	意識消失・死亡		

乳用雄牛の早期去勢について



カーフハッチによる哺育(肉牛生産センター)

去勢の遅れが見受けられるので生後二〜四カ月で去勢願います。

※早期去勢の理由

- ①雄牛の月令・体重・生後三〜四カ月、(一二〇〜一六〇kg) ⑥去勢後の回復が早く日常の管理も良い。⑦肥育した時の歩留り高く肉質も良い。

② 放牧中の飼養管理

肉用素牛として生産される乳用雄牛は、肉牛生産センター導入、府県移出販売が実態であります。最近の肉用素牛情勢は牛枝肉価格の低迷、府県に於ける黒毛牛の生産増による暴落等で、ホルオス素牛導入の意欲は減退され、素牛の流通は買手市場が実態でありますので、従来導入府県より要請されている事項について改善されるようお願い致します。

① 早期去勢の実施

今秋もメス、オス放牧(生草のみ)素牛の出廻りが予想されますが、導入府県の希望としては生草のみの放牧では飼料給与に慣れる期間が長すぎるとの苦情がありますので放牧しながら多少配合飼料の給与を願いたい。肉牛生産センター導入の素牛についても同一条件で取扱い致します。

一生忘れられない体験

日大酪農実習

今年も日大農獣医学部九十三名をはじめ、新潟大・島根大など大勢の酪農実習生が中標津を訪れ、初めての体験に悪戦苦闘



一日の旅行(和琴半島にて)

しながらも、受け入れ農家皆様のご理解のもと全員無事に実習を終えました。

とりわけ日大実習生について

は、「獣医をめざす者は、北海道の酪農を体験しなければ立派な獣医にはなれない」ということで、一カ月間の酪農実習が必須単位となっており、見知らぬ北海道で一カ月間頑張り通したことが一生忘れられない体験であり、ひとまわり大きな人間となり、獣医師として社会に出た時には、必ずこの実習が生かされるものと思われまふ。

一年ほど前になるが、朝日新聞のコラムに東俣落で実習した女性の記事が「動物女医」という題で掲載されましたので紹介します。

日本大学獣医学部には獣医を

めざす動物好きの女子学生約百人(全学年)が男子にまじって実習や実験に取り組んでいる内の一人の体験記である。

わたしは物心ついたころからイヌやネコが大好きで、高校の時に「将来は動物たちの命を助ける仕事にたずさわりたい」と決心し、この道を選んだ。

入学して最初の強烈な体験は二年生夏の必修となっている牧場実習だった。全員が一人か二人ずつ農家に分散し、七月末から八月末までの一カ月間、泊まり込みで家畜の飼育を手伝う。

わたしは北海道中標津町の酪農家に一人で配属され、毎朝五時に起きて若夫婦とともに四十頭の牛の世話にあたった。最初の数日間には心細い上に、フンや尿のにおいがたまらなかつた。

搾乳の直前、牛の乳房を消毒薬でふく。なれない手つきの私を牛が変な目で見て、蹴り上げる。フンのついた尾を振って私の顔をたたたく。フンが容赦なく口にも入る。私の足を踏んだままだいてくれない牛もいる。

牧草にまく肥料は一袋二十キ口。これを一人でかつがなければならぬ。やつとのことで持ち上げてふらつく姿に、農家の人から「あんた、力ないねえ」と言われた。しかし、毎日続けるうちには、次第に慣れてきて、腕がたくましく変わっていくの

が自分でも判かった。フンのにおいが気にならなくなると、牛の乳がなんともいいにおいに感じられる。しばらくたての牛乳をこはんやつけ物にかけて食べる農家での生活も楽しくなつて、実習の終わりの方はこのままずっと続けたい気持ちだった。

このように意義ある酪農実習が、乾牧草の収納作業の人手不足解消とあわせ、長続きさせたいものと考えてる。

相続や贈与の税金



妻の相続税

妻の相続した財産が、正味の遺産額の2分の1までのときは妻には税金はかかりません。

また、2分の1以上であっても4,000万円までなら税金の心配はありません。

肉用技術

肉用にする

乳用雄牛の

哺育ポイント

酪農の副産物だった乳用雄牛、牛および乳産牛による肉生産は枝肉生産量の七〇%を占める現況となっており、この貴重な肉資源である乳用雄牛の有効利用と経営安定のため、乳用雄牛の哺育ポイントを記述したいと思います。

あるもの ②初乳を十分飲ませる ③体重が四十五kg以上、五十五kg程度の子牛 ④腹の張りのよいもの（張りの悪いものは病気に等しい「コケ」ている） ⑤奇型・四肢の異常・盲目は絶対に避ける。

◎初乳給与の大切さ

乳用雄牛の牛肉利用の生産過程は哺育、育成、肥育の生産段階別に分けられ表1と表2は一般的に広く普及している乳用去勢牛肥育生産方式です。

初乳はできるだけ早く、遅くとも五時間ないし六時間以内に給与することが望ましいし、数日間継続して給与することが大切です。以上の理由としては(1)生時、仔牛はビタミンAが十分であり、病気に対する免疫が欠乏している (2)初乳にはエネ

ルギー、蛋白、ミネラル及びビタミンが高度にあり、加えて免疫抗体・免疫ガンマ、グロブリンを含んでいる。生まれたての仔牛は初乳からガンマ、グロブリンを腸内で吸収することによって、感染症に対する抗体が母から仔牛への移行し、病気に対

して抵抗力をもつことになるわけです。

◎哺育期の飼いかた

①哺乳牛は個別管理すること。哺乳中の仔牛を群飼いにすると、仔牛同志の哺乳後の吸い合いによって病気が相互に感染することがあるほか、個体観察ができ難いために病気の早期発見が困難になり、事故の発生となる。

表1 乳用雄牛生産方式

管理目標	飼育方式	飼育期間	飼育頭数	飼育重量
1日当り増体重	単飼	84日間	45kg	120kg
初乳6.0kg 3.0kg×2回	群飼(3-5頭)	91日間	120kg	220kg
	乾草(自由採食) (20-30kg)			
	人工乳(自由採食) (採食量160-180kg)			
	水(自由飲水)			
	代用乳1日500g (250g×2回) (給与量約20kg)			
	育成飼料(自由採食) (400-500kg)			
	乾草または稲ワラを濃厚飼料の10-15%を自由採食			

理事会の経過

七月二十七日開催

議案

一、外部出資の取得について。

昭和五十七年度、北海道厚生

農業協同組合連合会への出資

増口、一、二〇、〇〇〇円

原案どおり決定しました。

二、店舗職員等の業務手当につ

いて。

原案どおり決定しました。

三、ミルコスキャン二〇三の導

入に判う町の助成とリース料金の支払について。

昭和五十七年度リース料金

四、二五八、八〇〇円

町助成 二、二二九、四〇〇円

農協負担二、二二九、四〇〇円

原案どおり決定しました。

四、ミルコスキャン二〇四の処

分について。

処分価格

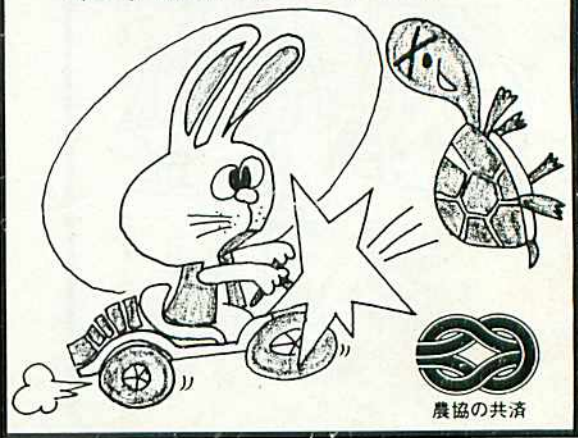
二、六二一、八五七円

処分先 雪印乳業株式会社

原案どおり決定しました。

五、昭和五十七年度資金需要の

あなたも
入ってますか？
農協の共済



農協の共済

表3 新生子牛に対する
初乳の給与量

生後日	給与量	備 考
1～3日齢	5～6kg	初乳 全乳
4～5日齢	7～8kg	
6～10日齢	7～8kg	

(注) 哺乳は1日2回の等間隔とする

表4 6週齢離乳のための
代用乳の給与

(風乾物kg/日/頭)

週 齢	定量給与方式
1～2	0.44kg (4.0kg)
2～3	0.60kg (4.0kg)
3～4	0.60kg (4.0kg)
4～5	0.60kg (4.0kg)
5～6	0.60kg (4.0kg)
計	19.88kg

(注) ①カゴ内は溶解温湯量を示す
②給与は1日2回
③水の定量給与方式は最初から自由飲水にする
④乾草は両方式とも最初から自由採食にする

表5 哺育・人工乳期の飼料給与基準

(風乾物kg/日/頭)

週 齢	代 用 乳	人工乳	乾 草
1～2	0.44kg (4kg)	0.1kg	0.10kg
2～3	0.60 (4kg)	0.3	0.10
3～4	0.60 (4kg)	0.6	0.10
4～5	0.60 (4kg)	0.9	0.20
5～6	0.60 (4kg)	1.3	0.20
6～7	生後42日齢離乳	1.5	0.20
7～8		1.8	0.25
8～9		2.3	0.30
9～10		2.8	0.35
10～11		3.3	0.40
11～12		3.8	0.45
12～13		4.2	0.50
計		160.3kg	22.05kg

◎早期発見離乳方式
早期離乳方式とは表3のとおり生時一週令から五、六週令まで代用乳を一日二頭当り〇・五

kgないし〇・六kgの定量を与え、一方、人工乳、乾草、水等は自由に採食させる方式をいいます。
①代用乳は定量給与方式を採用するが、代用乳の与え方には表4のとおり、一、二週令まで一日量の代用乳〇・四四kgを四kgの温湯に溶かして与え、その後は一日量〇・六kgの代用乳を四kgの温湯に溶かして与える。
②定量給与の留意点 (a)水は最初から自由飲水する。温湯量一日三kgないし四kgだけでは水分が不足する。(b)代用乳の溶解倍率六倍ないし七倍を変えないこと。(c)代用乳の温度三十八℃～三十九℃で与えること。温度計で確認、温湯の量を正確にする。(d)代用乳の哺乳方法にはストロー・ニップル・バケツ、自動哺乳器

表2 乳用去勢牛肥育生産方式

項目\区分	前 期			中 期				後 期		
体 重	250kg	300kg	350kg	400kg	450kg	500kg	550kg	600kg	650kg	700kg
1 日増体量	1.1kg	1.1kg	1.2kg	1.25kg	1.25kg	1.25kg	1.25kg	1.0kg	1.0kg	1.0kg
期 間		45.5日	41.6日	40日	40日	40日	40日	50日	50日	50日
		87.1日		160日				150日		
		397.1日 (13.24ヵ月) 生後月齢13.24ヵ月+6ヵ月=19.24日								
肥 育 技 術	消化機能促進期			増体最盛期——肉質改善期				——肉質改善期——		

計で確認、温湯の量を正確にする。(e)代用乳の溶解倍率六倍ないし七倍を変えないこと。(f)代用乳の温度三十八℃～三十九℃で与えること。温度

追加工について。
融資額 七七、七二〇千円
自己負担 三、四三〇千円
原案どおり決定しました。
九、根室生産推進委員会委員の選出について。
前委員の横田理事、竹村理事の再任と決定しました。
協議事項
一、肉牛生産センターの運営について
二、生活店舗の現況と今後の運営方策について
三、公社牧場事業について
四、唐崎幸司の農地取得等について
報告事項
一、固定資産監査結果について
二、名称変更について
三、第五回農民運動会について
四、管理部、購買部の事業状況について
五、生産部事業状況について
六、全乳哺育の助成中止について
七、日大学生の実習について
八、秋山勝一の土地売買問題のその後の経過について
九、重点指導農家の現況について

③人工乳の与え方 人工乳は生時第二週から生後三ヵ月まで与える飼料です。給与方式には制限と自由採食とがありますが先述したように代用乳を飲ませながら自由に採食できるようにすることがよい。
④粗飼料は生後三ヵ月までは良質乾草を与えます。以上哺育期の管理ポイントを述べましたが、肉牛生産センターにて乳用雄子牛を哺育しておりますので参考にして下さい。

追加工について。
融資額 七七、七二〇千円
自己負担 三、四三〇千円
原案どおり決定しました。
九、根室生産推進委員会委員の選出について。
前委員の横田理事、竹村理事の再任と決定しました。
協議事項
一、肉牛生産センターの運営について
二、生活店舗の現況と今後の運営方策について
三、公社牧場事業について
四、唐崎幸司の農地取得等について
報告事項
一、固定資産監査結果について
二、名称変更について
三、第五回農民運動会について
四、管理部、購買部の事業状況について
五、生産部事業状況について
六、全乳哺育の助成中止について
七、日大学生の実習について
八、秋山勝一の土地売買問題のその後の経過について
九、重点指導農家の現況について

追加工について。
融資額 七七、七二〇千円
自己負担 三、四三〇千円
原案どおり決定しました。
九、根室生産推進委員会委員の選出について。
前委員の横田理事、竹村理事の再任と決定しました。
協議事項
一、肉牛生産センターの運営について
二、生活店舗の現況と今後の運営方策について
三、公社牧場事業について
四、唐崎幸司の農地取得等について
報告事項
一、固定資産監査結果について
二、名称変更について
三、第五回農民運動会について
四、管理部、購買部の事業状況について
五、生産部事業状況について
六、全乳哺育の助成中止について
七、日大学生の実習について
八、秋山勝一の土地売買問題のその後の経過について
九、重点指導農家の現況について

追加工について。
融資額 七七、七二〇千円
自己負担 三、四三〇千円
原案どおり決定しました。
九、根室生産推進委員会委員の選出について。
前委員の横田理事、竹村理事の再任と決定しました。
協議事項
一、肉牛生産センターの運営について
二、生活店舗の現況と今後の運営方策について
三、公社牧場事業について
四、唐崎幸司の農地取得等について
報告事項
一、固定資産監査結果について
二、名称変更について
三、第五回農民運動会について
四、管理部、購買部の事業状況について
五、生産部事業状況について
六、全乳哺育の助成中止について
七、日大学生の実習について
八、秋山勝一の土地売買問題のその後の経過について
九、重点指導農家の現況について

八、昭和五十七年度土地改良事業の実施について。
(中標津町が行う事業)
事業費 八四、二九〇千円
補助金 三、一五〇千円

七、団体営草地開発整備事業及び自給飼料生産総合対策事業の変更について。
変更前
事業費 六九、八二六千円
補助金 三六、一九九千円
変更後
事業費 五七、〇〇〇千円
補助金 二九、二四〇千円
原案どおり決定しました。

八、昭和五十七年度土地改良事業の実施について。
(中標津町が行う事業)
事業費 八四、二九〇千円
補助金 三、一五〇千円

七、団体営草地開発整備事業及び自給飼料生産総合対策事業の変更について。
変更前
事業費 六九、八二六千円
補助金 三六、一九九千円
変更後
事業費 五七、〇〇〇千円
補助金 二九、二四〇千円
原案どおり決定しました。

八、昭和五十七年度土地改良事業の実施について。
(中標津町が行う事業)
事業費 八四、二九〇千円
補助金 三、一五〇千円

追加工について。
融資額 七七、七二〇千円
自己負担 三、四三〇千円
原案どおり決定しました。
九、根室生産推進委員会委員の選出について。
前委員の横田理事、竹村理事の再任と決定しました。
協議事項
一、肉牛生産センターの運営について
二、生活店舗の現況と今後の運営方策について
三、公社牧場事業について
四、唐崎幸司の農地取得等について
報告事項
一、固定資産監査結果について
二、名称変更について
三、第五回農民運動会について
四、管理部、購買部の事業状況について
五、生産部事業状況について
六、全乳哺育の助成中止について
七、日大学生の実習について
八、秋山勝一の土地売買問題のその後の経過について
九、重点指導農家の現況について

八、昭和五十七年度土地改良事業の実施について。
(中標津町が行う事業)
事業費 八四、二九〇千円
補助金 三、一五〇千円

七、団体営草地開発整備事業及び自給飼料生産総合対策事業の変更について。
変更前
事業費 六九、八二六千円
補助金 三六、一九九千円
変更後
事業費 五七、〇〇〇千円
補助金 二九、二四〇千円
原案どおり決定しました。

八、昭和五十七年度土地改良事業の実施について。
(中標津町が行う事業)
事業費 八四、二九〇千円
補助金 三、一五〇千円

七、団体営草地開発整備事業及び自給飼料生産総合対策事業の変更について。
変更前
事業費 六九、八二六千円
補助金 三六、一九九千円
変更後
事業費 五七、〇〇〇千円
補助金 二九、二四〇千円
原案どおり決定しました。

八、昭和五十七年度土地改良事業の実施について。
(中標津町が行う事業)
事業費 八四、二九〇千円
補助金 三、一五〇千円

追加工について。
融資額 七七、七二〇千円
自己負担 三、四三〇千円
原案どおり決定しました。
九、根室生産推進委員会委員の選出について。
前委員の横田理事、竹村理事の再任と決定しました。
協議事項
一、肉牛生産センターの運営について
二、生活店舗の現況と今後の運営方策について
三、公社牧場事業について
四、唐崎幸司の農地取得等について
報告事項
一、固定資産監査結果について
二、名称変更について
三、第五回農民運動会について
四、管理部、購買部の事業状況について
五、生産部事業状況について
六、全乳哺育の助成中止について
七、日大学生の実習について
八、秋山勝一の土地売買問題のその後の経過について
九、重点指導農家の現況について

昭和57年度販売畜牛資源調査集計表

(57.7.31)

販売予定月			8月	9～10月	11～12月	1月以降	計
項	目						
乳 用 牛	初 妊 牛	高 資	15	18	5	14	52
		血 統	38	92	120	92	342
		系 種	61	111	165	115	452
		計	114	221	290	221	846
	経 産 牛	血 統	10	16	10	2	38
		系 種	10	25	22	11	68
		計	20	41	32	13	106
	育 成 牛	血 統		36	28		64
		系 種	25	101	88	21	235
		計	25	137	116	21	299
ホ 牝 ル 牝	300kg 未満	26	67	96	12	201	
	300kg 以上	6	25	24	19	74	
	計	32	92	120	31	275	
廃 用 牛			43	156	191	20	410
販 売 畜 合 計			234	647	749	306	1936
昭和56年度資源調査			180	971	844		1995

昭和五十七年度 販売希望畜牛 資源調査結果について

販売希望畜牛の資源を把握し府県への販売推進を図るため、過般し集計した結果、別表の通りで

昭和五十六年度より販売希望畜牛は減少している状況です。乳牛購買は広報無線の連絡が主となりますのでよろしく願います。対象戸数三四戸、回収二三九戸、該当畜無し七一戸、未回収四戸。

初代本登牛の 申し込み 方 について

初代本登録は基礎登録牛で生後十八カ月以上で体格得点七十五点以上又は乳量検定でB―二基準、乳脂量二・二%以上で合格します。

一、検定による初代本登録

●初代本登録の乳量検定はB―二基準、乳脂量二・二%以上で合格します。

●検定開始前(分娩前)に申込み。

●乳用牛群改良推進事業の立会

検定による初代本登録は、やむをえない場合により検定中(分娩後一カ月以内)に行うことができる。

●立会検定加入の方法については牛の能力を把握することができ、検定申込みを推薦いたします。

二、体格審査による初代本登録

●「本質」又は、「二本質」の基礎登録牛であること。

●生後十八カ月以上のもので審査得点七十五点以上であれば合格します。

●体格審査は常時受付し頭数が集まり次第日程を決め審査を行いますので登録証明書を農協畜産係まで持って来て下さい。

8月の 組 合 日 誌

3日 更別農協視察来町
5日 根室管内ホルスタイン共進会
9日 根室管内組合長会議
11日 第二期馬鈴薯種子馬鈴薯防疫検査
15日 牛乳消費拡大キャンペーンの実施
18日 第五回農民運動会
26日 根室生産連整備工場運営委員会
27日～28日 婦人部研修旅行



中標津町観光まつり

ミルク キャンペーン

中標津町農協青年部



八月十五日、町観光まつりに協賛して、農協青年部、ホクレン主催のミルクキャンペーンを実施しました。当日は晴天に恵まれ町民が多数訪れ、準備したミルク喫茶、もちつき大会、ポテトフライ、牛乳販売、ミニ牧場は、例年にはく低調であった。中でも、もちつき大会・ポテトフライは人気を集めていました。牛乳販売については市場での安売りの影響もあり、キャンペーンとしての方法は今後の課題と言えよう。

ホルスタイン登録料金表

(円)

科 目 別	料 金	科 目 別	料 金
血統登録	牝牛 6 カ月以内 3,300	基礎登録	6 カ月以内 2,000
	牝牛 6 カ月以上 6,500		6 カ月以上 2,500
	輸入牛 10,100	移動	初代基礎・基礎 1,700
	牝牛 1 カ年以内 19,000		初代本、2 代本 2,500
	牝牛 1 カ年以上 45,000	再交付	初代基礎、基礎 2,100
	輸入牛 71,000		初代本、2 代本 5,500
	牝種系繰入 3,300	書換更正	初代基礎、基礎 1,700
	移動証明 2,500		初代本、2 代本 2,500
	移動証明(相統) 1,250	初代本登録	体格審査 4,700
	再交付 5,500		再審査 3,600
自家検定	再正・書換 2,500	自家検定	検定 B 検 19,000
	高等登録 28,000		再検定 B 検 18,000
	A 検定証明 21,000		同時検定 B 検 8,400
	体格審査 6,500	立会検定	検定 4,700
立会検定	同時検定 1 件に付 13,200		再検定 3,000
	高等登録 9,500		同時検定 3,000
	検定証明 3,000		2 代本登録 B 検 22,000
別高	体格審査 6,500	自家検定	再検定 5,600
	同時検定 1 件に付 3,000		再検定 B 検 18,000
	建高等登録 2,900		同時検定 B 検 8,400
	高等登録 58,000		2 代本登録 8,100
血液型調査	本牛の血液型 牝 8,900	立会検定	再審査 5,600
	本牛の血液型 牡 9,800		再検定 3,000
	父母の判定 8,900		同時検定 3,000
	フリーマーチンの判定 8,900		
	卵性の判定 8,900		

登録料金 が改訂 になりました

乳牛の登録事業につきまして
はご理解、ご協力をいただきま
ことにありがとうございます。
登録料金が八月一日より現行料
金の平均十八%アップと改訂に
なりました。乳牛の登録とは、
人間でいえば戸籍と同じで血統
とその牛の所在を証明するもの
です。良い系統すぐれた乳牛も
登録証明書だけが信頼され乳牛
改良を進めるうえで土台となる
ものです。今現在大変厳しい酪
農情勢の中登録料金が改訂とな
りましたが、早く登録する事に
より安い料金でより明確な個体
の確認と共に乳牛の改良・個体
の付加価値を高めるため組合員
皆様のご協力お願い致します。

小・中学生の応募を
お待ちしております。

間違いさがし



この絵の中には、いくつ間違
いがあるでしょうか。間違いを
見つけて、その数をハガキに書
いて送って下さい。

〔応募規定〕

①官製ハガキに答えを書いて送
って下さい。

②あなたの氏名、年齢、住所を
書いて下さい。

③対象者 小・中学生

④宛先 中標津町東七条南 丁

目 中標津町農協組織広報係
宛

⑤締切日 九月二十日

●正解者 〇名の方に記念品を
贈呈、参加者へも参加賞を用
意しております。

●発表は、十一月号紙面で発表
致します。

〔七月号の当選者〕

七月号の正解は「五つ」（下の
図の〇印）でした。応募数七名
で正解は次の五名でした。

東俵橋 森島靖雄君

森島美由紀ちゃん

当幌 阿部 忍ちゃん

〈7月号の間違い箇所〉



農閑期を
利用して

親睦の ひと時

阿部かおりちゃん
阿部留美ちゃん

正解でなかった二名の人も参
加賞を用意していますので、農
協広報係まで申し出下さい。

表紙写真

表紙の写真は北進地区の佐伯由美子さん二十
八才です。
嫁いで五年、農村生活にも慣れ、酪農経営の
事も少しずつ理解ができて来たという由美子さ
んは、今、子育ての真最中ですが、若妻の集ま
りにも参加出来るようになって、地域社会の中
に溶けこんでいます。
また二人の子
供の母親でもあ
り、主人と子供
四人で出かける
時も楽しい一時
だそうです。



八月二十五日、森林公園で農
協青年部主催の親睦パーティー
が行われました。
五回目を迎えた同パーティー
は、初めて夏に行われ、六十数



名の参加者はゲームにひと時を
満喫していました。
ゲームの後はジグザグスキャンを
囲んで親睦を深めていました。

